

2026 シーズンの1部リーグ編成と試合方法

- 1部8チーム制—2巡総当たり=計14試合【強化】
完全2巡制で適応力とチーム力の醸成の機会があるリーグ形式；3PO
- 2部12チーム制—1巡総当たり=計11試合【強化+育成】
2巡目があり1部に向けた育成要素を含むリーグ形式；レフリーの育成も含めた3POが望ましい
※1巡総当たり後に2巡目を加えて強化の意味合いを出す試合方法については今後継続検討課題
- 3部12チーム制—並列2ブロック1巡→上位・下位ブロックで未対戦3試合=計8試合【育成+普及】
多くのチームとの対戦機会があるリーグ形式；2POで帯同審判含む
- 4部12チーム制—並列2ブロック1巡→各ブロックの同順位対戦で順位決定1試合=6試合【普及】
ゆとりある日程で多くのチームとの対戦できるリーグ形式；2POで帯同審判含む
※登録チーム数の増減によって4部の運営方法は柔軟に対応する必要あり

2025 シーズンの入れ替え戦（1年度のみ）

- 1部10チーム→8チームへ→2部へ2チーム降格
- 2部12チーム維持→3部へ2チーム降格
- 3部12チーム維持→4部へ2チーム降格
- 関東方式を一部修正して採用：土日1戦ずつ2段階方式
 - 1段目：1部9位—2部1位、1部10位—2部2位
1先勝方式=勝者が2段目に進む
※1部9位、10位と2部1位、2位だけが入れ替え戦を行う場合は
1部9位—2部2位、1部10位—2部1位となるが
2段目の1部7位—8位にアドバンテージを持たせる目的で
対戦相手を組み替えてある
 - 2段目：1部8位—（1部9位—2部1位の勝者）、1部7位—（1部10位—2部2位の勝者）
2先勝方式=1部7位、8位が1勝を持っている状態からスタート
（リーグ戦の順位による優位性を確保する目的）
1部7位、8位が勝てば2先勝となり決定
1部7位、8位が負ければ1勝1敗となり月曜日に2戦目を実施して決定
- 基本的な考え方
 - 自動降格をしない
 - 上部リーグの上位に優位性を確保する
- 2チーム降格が発生する2部—3部間、3部—4部間も同一方式をとる
2部—3部間の対戦順位設定（3部—4部間も同順位設定で実施）
 - 1段目：2部11位—3部1位、2部12位—3部2位
1先勝方式=勝者が2段目に進む
 - 2段目：2部10位—（2部11位—3部1位の勝者）、2部9位（2部12位—3部2位の勝者）
2先勝方式=2部9位、10位が1勝を持っている状態からスタート
（リーグ戦の順位による優位性を確保する目的）
2部9位、10位が勝てば2先勝となり決定
2部9位、10位が負ければ1勝1敗となり月曜日に2戦目を実施して決定

2026 シーズン以降の入れ替え戦は従来通り

- 1部2チームと2部2チーム間の入れ替え戦は2先勝方式
 - 1勝1敗の場合は月曜日に3戦目を実施
- 2部2チームと3部2チーム間/3部2チームと4部2チーム間の入れ替え戦は1先勝方式